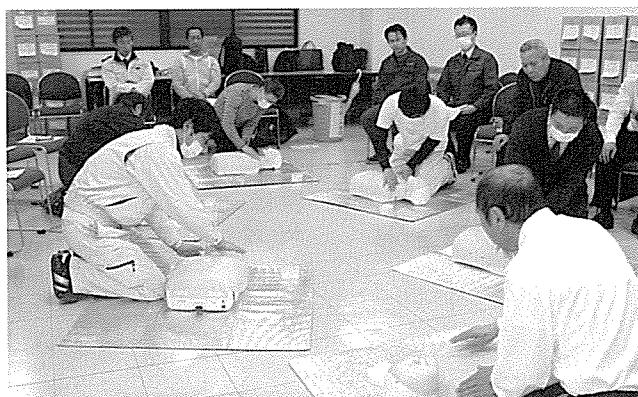


## 名古屋支部

### 「普通救命講習Ⅰ」を開催 あつ、人が倒れた！緊急事態の人命救助を実習

名古屋支部（新美三良支部長）は、昨年に引き続き二度目となる「普通救命講習Ⅰ」を、3月21日（火）午後1時から協会3階会議室において、名古屋市消防局救急救命研修所応急手当研修センターのご協力を得て開催しました。今回は、講師として同センターから大野俊夫氏、岡野次男氏をお招きし、支部会員13名が参加しました。



実習は3名1組でチームを組み、心肺蘇生法、AEDの使い方まで一連の救急救命の手当を4つのパートに分けて練習しました。各パートでは最初にビデオ学習し動作の流れを理解して、次に講師が手本を示し、その後実技を体験しました。いざという時に焦らず、人の助けを借りるという冷静さが必要だということを、実感しました。特に胸骨圧迫30

#### パート1 ►►►►►►►►

##### ・反応の確認

両肩をたたきながら大きな声で呼びかける。

##### ・助けを呼ぶ

119番通報とAEDを依頼します。



#### パート2 ►►►►►►►►

##### ・呼吸の確認

胸やお腹の動きを見て呼吸があるか確認します。

##### ・胸骨圧迫30回

胸の真ん中を強く1分間に100～150回の早さで圧迫します。



回と人工呼吸2回の組合せは、一人で行うにはハードな動作ですが、チームで行うことにより成果が表われました。パート4のAEDの使い方では、機器を使い、電源を入れる、電極パットを装着する、電気ショックのボタンを押す、一連の動作を音声メッセージの指示に従い、何回も繰り返し練習しました。

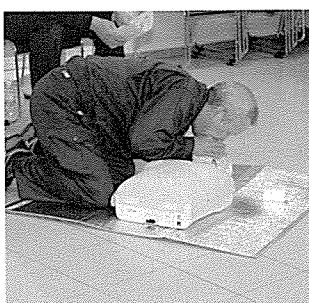
参加者からは周りに人がいない時、携帯電話がつながらない時はどうするのか、また階段やトイレ、雨降りの時はどうするのか、との質問がありました。講師からは、とにかく慌てず真っ先に119番に通報し、救急隊が到着するまで胸骨圧迫を続けてください、と説明がありました。

AEDの処置では、電気ショック時において1300Vの電流が流れるため、汗は拭き取り、心臓のペースメーカーがあれば離して、ネックレスや金属類は外して、傷病者に電極パットを装着する。電極パットは1度貼ったら2度は使えないで落ち着いて行うこと、とのことでした。最後に気道異物の除去について、①咳による異物の除去②腹部突き上げ法③背部叩打法、等の応急手当や、出血時の止血法についても説明がありました。練習終了後、参加者全員に講習修了証カードが手渡され、講習会は終了しました。

#### パート3 ►►►►►►►►

##### ・人工呼吸2回

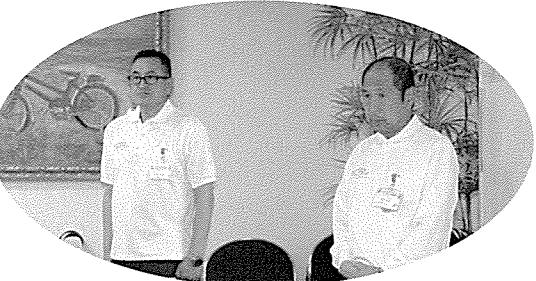
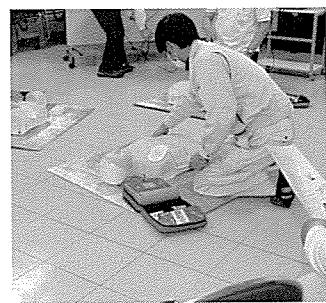
気道を確保し、軽く胸が上がるよう人工呼吸を2回行います。



#### パート4 ►►►►►►►►

##### ・AEDの使い方

電源を入れ、音声メッセージとランプに従います。



名古屋市消防局救急救命研修所の大野講師、岡野講師から指導を受け実習